



「憧れる」から始まる心の育ち

スポフェスを間近に園庭では年長児が遊戯バルーンの練習をしていました。

何が始まるんだろう…と年中、年少の子どもたちが廊下に集まり、2歳児の子どもたちもちらほら。音楽がかかると「頑張れー!!!」と言う子どもたちの声援もあり、年長児の目の色が変わる瞬間がありました。子どもたち同士の認め合ったり励まし合う姿。そんな姿が見られ、自然と真剣な表情に。

「憧れる」そんな言葉がピッタリな子どもたちの表情に、こうして文化は継承されていくんだろと感じました。バルーンのやり方を教えたり、うまくいくための方法を伝えることで活動として取り組むバルーンではなく、「僕も(私も)やってみたい!」という子どもたちの「憧れ」から始まる遊びや園文化の大切さを改めて実感しました。

2025/10/07 福丸